

〇〇薬局業務継続計画（BCP）

（記載例）

2024年12月5日制定

株式会社〇〇薬局

目 次

- I 業務継続の基本方針
- II 被害の想定
 - 1 想定地震・震度
 - 2 薬局周辺の被害状況
 - 3 自薬局の被害状況
- III 総合的対策
- IV 通常業務、応急業務の把握と災害時の優先業務
 - 1 優先業務ごとの評価と対策（処方箋監査・疑義照会）
 - 2 優先業務ごとの評価と対策（薬袋・医薬品情報発行）
 - 3 優先業務ごとの評価と対策（散剤計量調剤）
 - 4 優先業務ごとの評価と対策（計数調剤（錠剤、カプセル剤））
 - 5 優先業務ごとの評価と対策（内用液剤調剤）
 - 6 優先業務ごとの評価と対策（外用薬調剤（軟膏剤等））
 - 7 優先業務ごとの評価と対策（調剤鑑査）
 - 8 優先業務ごとの評価と対策（一般用医薬品の販売）

I 業務継続の基本方針

基本方針
1. 従業員及び患者等の安全確保 2. 医薬品の安定供給（早期再開） 3. 地域医療救護活動の支援 4. 財務基盤の維持

II 被害の想定

① 想定地震・震度② 薬局周辺の被害状況

想定する地震	南海トラフ地震（過去最大クラス）
震度	6強

② 薬局周辺の被害状況

対象区分		被害（利用可否）			
		6時間	24時間	72時間	7日
ライフライン	電気	×	×	×	○
	電話（固定）	×	×	×	○
	電話（携帯）	○	×	×	○
	インターネット	×	×	×	○
	上水	×	×	×	○
道路	道路通行	△	△	○	○
鉄道	鉄道運行	×	×	×	×
平時に処方箋を応需している診療機関の被災状況	A病院	○	○	○	○
	B診療所	×	×	△	○
その他特記事項 （周辺での火災発生の有無等）		沿岸地域では津波被害あり。 汚水処理は浄化槽対応。 道路通行は、3日ではほぼ回復。			

注) △は一部通行可

③自薬局の被害状況

対象区分		被害状況					
建 物		ひび割れ程度。業務継続可能。					
建物内部（天井、ガラス、電気設備等）		ガラスが割れる程度。業務継続可能。					
調剤設備		店舗内の物品等は散乱。ただし、設備は固定しているため実質的な損傷等の被害なし。					
医薬品・ 資材	薬局内 保管分	使用可能（備蓄 3日分）					
	調達の 見通し	物流に大きな混乱がないため影響なく、主要な周辺道路は3日後に回復					
人 員	従業員の 被害	なし					
	従業員の 参集	参集予測					
		発災	区分	6時間	24時間	72時間	7日
		営業 時間中	薬剤師	100%	50%	75%	100%
			事務員	100%	33%	67%	100%
		営業 時間外	薬剤師	50%	50%	75%	100%
	事務員		33%	33%	67%	100%	
※営業時間中の発災の場合は、帰宅困難者となる従業員はいない							
応援の 見通し	必要なし						
患者等	お客様の 被害	なし					
	利用 見通し	地域の被災状況は中程度のため、通常の医薬品需要に近い状態が想定される。飲料水や食品など、日用品に対するニーズが多くなる。					
その他・特記事項		特になし。					

④ 従業員の参集状況

区分	氏名	職種	勤務形態	自宅からの距離	参集に係わる事項	発災後経過時間			
						6時間	24時間	72時間	7日
営業時間中に発災した場合	〇〇 〇〇	管理薬剤師	常勤	5 km	-	○	○	○	○
	〇〇 〇〇	薬剤師	常勤	20 km	-	○	×	○	○
	〇〇 〇〇	薬剤師	常勤	8 km	-	○	○	○	○
	〇〇 〇〇	薬剤師	常勤	15 km	家族に幼児あり	○	×	×	○
	〇〇 〇〇	事務員	常勤	4 km	-	○	○	○	○
	〇〇 〇〇	事務員	常勤	6 km	-	○	○	×	○
	〇〇 〇〇	事務員	常勤	7 km	家族に幼児あり	○	×	○	○
営業時間外に発災した場合	〇〇 〇〇	管理薬剤師	常勤	5 km	-	○	○	○	○
	〇〇 〇〇	薬剤師	常勤	20 km	-	×	×	○	○
	〇〇 〇〇	薬剤師	常勤	8 km	-	○	○	○	○
	〇〇 〇〇	薬剤師	常勤	15 km	家族に幼児あり	×	×	×	○
	〇〇 〇〇	事務員	常勤	4 km	-	○	○	○	○
	〇〇 〇〇	事務員	常勤	6 km	-	×	×	○	○
	〇〇 〇〇	事務員	常勤	7 km	家族に幼児あり	×	×	×	○

Ⅲ 総括的対策

業務資源	起こりえる状況	事前対策／代替手段
ヒト	薬剤師及び事務員の不足（被災、通勤困難等）等	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会との調整、応援依頼（特に、災害医薬品の供給業務） ・近くに居住するスタッフの確保 ・複数業務への習熟 ・家族・自宅の被災状況、勤務負担を想定し、交代勤務制を検討 等
医薬品	医薬品不足（卸の被災や物流停滞による供給の遅れ、医薬品自体の被災、需要の急増等） 等	<ul style="list-style-type: none"> ・棚の固定、薬瓶の落下防止対策 ・在庫積み増し（備蓄） ・薬局間での相互融通、調剤 ・調剤日数の短縮 ・鈴鹿亀山地域では主要な道路は3日間で復旧すると想定（三重県被害予測）
消耗品	薬袋等の消耗品不足（業者の被災や物流停滞による供給の遅れ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・在庫積み増し ・代用品の確保 等
情報	医師との連絡不通（疑義照会の実施不可能）、処方箋の無い患者の来訪	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との連絡方法の確認 ・処方箋無し調剤への対応方針の確認 等
情報システム	レセコンほか情報システムの停止（停電、機器故障等） 等	<ul style="list-style-type: none"> ・データバックアップ、バックアップメディアの安全な場所での保管 ・薬歴の紙媒体による保管 ・患者に対し「お薬手帳」携帯を指導 ・レセコン停止を想定した手作業の習熟 ・会計は後日請求 等
調剤関連機器	計量機・分包機ほか各種機器の停止（停電、機器故障等） 等	<ul style="list-style-type: none"> ・機器に頼らない備え（電池式天秤・薬包紙の常備、手分包の習熟等） ・簡易分包対応 等
業務環境	薬局建屋や調剤室の被災 等	<ul style="list-style-type: none"> ・近接薬局での調剤（スタッフを派遣） ・仮設調剤室の確保 等
ライフライン・ユーティリティ	停電、断水、電話・インターネット通信途絶 等	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機、ハイブリッドカー活用 ・水の備蓄、井戸水の確保 ・複数の通信機器確保 ・従業員安否確認ルールの確認 等

IV 通常業務、応急業務の把握と災害時の優先業務

業務区分		業務番号	業務名	優先業務の該当
通常業務	・調剤業務	-	・処方箋の受付・入力	○
		1	・薬歴照会・処方箋鑑査・疑義照会	○
		2	・薬袋・医薬品情報発行	○
		3	・散剤計量調剤	○
		4	・計数調剤（錠剤、カプセル剤）	○
		5	・内用液剤調剤	○
		6	・外用薬調剤（軟膏剤等）	○
		7	・調剤鑑査	○
		-	・服薬指導	○
		-	・医薬品交付	○
		-	・会計	○
	-	・調剤報酬請求	○	
	・販売業務	8	・一般用医薬品の販売	○
		-	・衛生材料の販売	○
		-	・雑貨・食料品の販売	○
-		・在宅患者訪問薬剤管理指導	○	
-		・薬学生の受け入れ	×	
応急業務		<ul style="list-style-type: none"> ・患者の避難誘導 ・従業員の安否確認 ・店舗の状況確認 ・平時に処方箋を応需している医療機関、地区薬剤師会等の関係機関への連絡 		

IV-1 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	1	業務名	処方箋監査・疑義照会
------	---	-----	------------

【業務資源とリスク評価】

下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否
ヒト	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の停止による参集不可 道路の寸断、交通規制による参集不可 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣居住者のパート採用 自家用車による薬局への参集ルートの確認 	×
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	-	-	-
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	-	-	-
情報	処方箋	<ul style="list-style-type: none"> 処方箋記載必須項目の記載もれ 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に最低限記載する必要がある項目を医療機関と確認 	×
ライフライン	電気	<ul style="list-style-type: none"> 停電 照明の停止 	-	×
	電話	<ul style="list-style-type: none"> 使用困難 	-	×

【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間	72時間	7日	事前対策
目標とするサービスレベル※		△	△	△	○	-
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	薬剤師2名で対応	(6時間後と同様)	薬剤師3名で対応	薬剤師4名で対応	緊急参集できる薬剤師を指定
	サービス内容(量・質)の変更	医療機関訪問による対面での疑義照会	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	鈴鹿中央総合病院、いしが在宅ケアクリニックすずかとは疑義照会を省略できる項目を締結済
		開局時間の検討(鈴鹿中央総合病院との調整)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-

※サービスレベル (○:通常対応可 △:部分対応可 ×:対応困難) 以下同じ

IV-2 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	2	業務名	薬袋・医薬品情報発行
------	---	-----	------------

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否	
ヒト		事務員	・公共交通機関の停止による参集不可 ・道路の寸断、交通規制による参集不可	・近隣居住者のパート採用 ・自家用車による薬局への参集ルートの確認	×
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	<u>レセプトコンピュータ</u>	・他機材の落下による故障 ・停電による停止	・周辺他機材の固定	×
		<u>薬袋発行用プリンタ</u>	・他機材の落下による故障 ・停電による停止	・周辺他機材の固定	×
		<u>医薬品情報提供文書印刷用プリンタ</u>	・他機材の落下による故障 ・停電による停止	・周辺他機材の固定	×
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	薬袋	・揺れによる散乱	・保管場所の固定	×
		医薬品情報提供文書用紙	・揺れによる散乱	・保管場所の固定	×
情報		処方箋	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)
ライフライン		電気	・停電 ・照明の停止	-	×

【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間	72時間	7日	事前対策
目標とするサービスレベル		△	△	△	○	-
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	事務職員1名で対応	(6時間後と同様)	事務職員2名で対応	事務職員3名で対応	緊急参集する薬剤師を指定
		手書きによる薬袋作成	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	薬局の名称、薬局又は薬剤師の連絡先等を印刷した手書き用薬袋の常備
		注意事項の印字スタンプの利用	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	調剤頻度の高い医薬品に関する、使用上の注意事項の印字スタンプの常備
		手書きによる医薬品情報提供文書の作成	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	医薬品情報提供文書雛形の常備
	サービス内容(量・質)の変更	医薬品情報提供文書記載内容の簡略化	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	最低限必要な項目の選定
		開局時間の短縮(10~13時)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関への周知

IV-3 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	3	業務名	散剤計量調剤
------	---	-----	--------

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否	
ヒト	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の停止による参集不可 道路の寸断、交通規制による参集不可 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣居住者のパート採用 自家用車による薬局への参集ルートの確認 	×	
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	乳棒・乳鉢	<ul style="list-style-type: none"> 落下による破損 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	○
		スパーテル・秤量皿	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	○
		電子天秤	<ul style="list-style-type: none"> 落下による故障 他機材の落下による故障 停電による停止 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	×
		ふるい	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	○
		自動分包機	<ul style="list-style-type: none"> 他機材の落下による故障 停電による停止 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺他機材の固定 	×
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	散剤	<ul style="list-style-type: none"> 散剤台の倒壊による散剤瓶の破損 卸売業者の倉庫被災による供給停止 道路の寸断、交通規制による供給停止 	<ul style="list-style-type: none"> 散剤台の固定 最低3日分の常備 	×
	薬包紙	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 卸売業者の倉庫被災による供給停止 道路の寸断、交通規制による供給停止 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 最低3日分の常備 	×	
情報	処方箋	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	
ライフライン	電気	<ul style="list-style-type: none"> 停電 照明の停止 	-	×	

【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間	72時間	7日	事前対策
目標とするサービスレベル		△	△	△	○	-
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	薬剤師2名で対応	(6時間後と同様)	薬剤師3名で対応	薬剤師4名で対応	緊急参集する薬剤師を指定
		上皿天秤による秤量	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	上皿天秤の購入、使用方法の周知・習熟
		薬包紙による手分包	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	薬包紙の常備、使用方法の周知・習熟
		薬剤保管庫でのヘッドライトの利用	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	ヘッドライトの購入
	サービス内容(量・質)の変更	開局時間の短縮(10~13時)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の開局時間に関する検討と医療機関への周知
		調剤日数の短縮(2日分)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の調剤日数に関する医療機関との取り決め

IV-4 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	4	業務名	計数調剤（錠剤、カプセル剤）
------	---	-----	----------------

【業務資源とリスク評価】

下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否	
ヒト	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の停止による参集不可 道路の寸断、交通規制による参集不可 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣居住者のパート採用 自家用車による薬局への参集ルートの確認 	×	
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	はさみ	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	○
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	錠剤、カプセル剤	<ul style="list-style-type: none"> 調剤棚の倒壊による錠剤・カプセル剤の散乱、損失 卸売業者の倉庫被災による供給停止 道路の寸断、交通規制による供給停止 	<ul style="list-style-type: none"> 調剤棚の固定 最低3日分の錠剤、カプセル剤の常備 	×
		輪ゴム	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	×
情報	処方箋	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	
ライフライン	電気	<ul style="list-style-type: none"> 停電 照明の停止 	-	×	

【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間	72時間	7日	事前対策
目標とするサービスレベル		△	△	△	○	-
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	薬剤師2名で対応	(6時間後と同様)	薬剤師3名で対応	薬剤師4名で対応	緊急参集する薬剤師を指定
		薬剤保管庫でのヘッドライトの利用	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	ヘッドライトの購入
	サービス内容(量・質)の変更	開局時間の短縮(10~13時)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関への周知
		調剤日数の短縮(2日分)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の調剤日数に関する医療機関との取り決め

IV-5 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	5	業務名	液剤調剤
------	---	-----	------

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否	
ヒト	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の停止による参集不可 道路の寸断、交通規制による参集不可 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣居住者のパート採用 自家用車による薬局への参集ルートの確認 	×	
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	秤量用器具（メートルグラス）	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	○
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	液剤	<ul style="list-style-type: none"> 液剤棚の倒壊による薬瓶の散乱 卸売業者の倉庫被災による供給停止 道路の寸断、交通規制による供給停止 	<ul style="list-style-type: none"> 液剤棚の固定 最低3日分の常備 	×
		滅菌済投薬瓶	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 	×
		服薬用カップ、スポイト	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 最低3日分の常備 	×
		ラベル	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の固定 最低3日分の常備 	×
情報	処方箋	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	
ライフライン	電気	<ul style="list-style-type: none"> 停電 照明の停止 	-	×	
	常水	<ul style="list-style-type: none"> 断水 	<ul style="list-style-type: none"> 精製水を30L常備 	×	

【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間	72時間	7日	事前対策
目標とするサービスレベル		△	△	△	○	-
業務を継続するための 方策・代替 手段	サービス提供 方法・手段の 変更	薬剤師2名で対応	(6時間後と同様)	薬剤師3名で対応	薬剤師4名で対応	緊急参集する薬剤師を指定
		目盛付滅菌済投薬瓶での秤量	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	目盛付滅菌済投薬瓶の常備
		保管庫でのヘッドライトの利用	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	ヘッドライトの購入
	錠剤等への変更	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	液剤から錠剤等他の種類の医薬品への変更に関する医療機関との認識共有	
	サービス内容 (量・質)の 変更	開局時間の短縮(10~13時)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の開局時間に関する方針のと医療機関への周知
調剤日数の短縮(2日分)		(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の調剤日数に関する医療機関との取り決め	

IV-6 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	6	業務名	外用剤調剤（軟膏剤）
------	---	-----	------------

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否	
ヒト	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の停止による参集不可 道路の寸断、交通規制による参集不可 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣居住者のパート採用 自家用車による薬局への参集ルートの確認 	×	
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	<u>コンディショニング</u> <u>グミキサー</u>	<ul style="list-style-type: none"> 他機材の落下による故障 停電による停止 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺他機材の固定 	×
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	軟膏剤	<ul style="list-style-type: none"> 薬棚の倒壊による軟膏剤の散乱 卸売業者の倉庫被災による供給停止 道路の寸断、交通規制による供給停止 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の倒壊防止 	×
		軟膏壺	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の倒壊防止 	×
		アルコール綿	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の倒壊防止 	×
		ラベル	<ul style="list-style-type: none"> 揺れによる散乱 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所の倒壊防止 	×
情報	処方箋	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	
ライフライン	電気	<ul style="list-style-type: none"> 停電 照明の停止 	-	×	

【業務継続目標】

発災後経過時間		6 時間	24 時間	72 時間	7 日	事前対策
目標とするサービスレベル		△	△	△	○	-
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	薬剤師2名で対応	(6時間後と同様)	薬剤師3名で対応	薬剤師4名で対応	緊急参集する薬剤師を指定
		軟膏板、軟膏へらによる混合	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	軟膏板、軟膏へら、軟膏絞り器の常備、使用方法の周知・習熟
		保管庫でのヘッドライトの利用	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	ヘッドライトの購入
	サービス内容（量・質）の変更	開局時間の短縮	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関への周知
		調剤日数の短縮	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の調剤日数に関する医療機関との取り決め

IV-7 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	7	業務名	調剤鑑査
------	---	-----	------

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否
ヒト		薬剤師 ・公共交通機関の停止による参集不可 ・道路の寸断、交通規制による参集不可	・近隣居住者のパート採用 ・自家用車による薬局への参集ルートの確認	×
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	電子天秤 (業務番号4で検討)	(業務番号4で検討)	業務番号4で検討)
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	薬袋 (業務番号2で検討)	(業務番号2で検討)	(業務番号2で検討)
		医薬品情報提供文書用紙 (業務番号2で検討)	(業務番号2で検討)	(業務番号2で検討)
		医薬品 (業務番号3,4,5,6で検討)	(業務番号3,4,5,6で検討)	(業務番号3,4,5,6で検討)
情報		処方箋 (業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)	(業務番号1で検討)
ライフライン		電気 ・停電 ・照明の停止	-	×

【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間	72時間	7日	事前対策
目標とするサービスレベル		△	△	△	○	-
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	薬剤師2名で対応	(6時間後と同様)	薬剤師3名で対応	薬剤師4名で対応	緊急参集する薬剤師を指定
		上皿天秤による秤量(散剤の場合)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	上皿天秤の購入、使用方法の周知・習熟
		ヘッドライトで照らしての鑑査	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	ヘッドライトの購入
	サービス内容(量・質)の変更	開局時間の短縮(10~13時)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関への周知

IV-8 優先業務ごとの評価と対策

業務番号	8	業務名	一般用医薬品の販売
------	---	-----	-----------

【業務資源とリスク評価】 下線・太字は必要不可欠な業務資源

業務資源		想定される被害状況	実施する予防策	予防策を踏まえた使用可否
ヒト	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の停止による参集不可 道路の寸断、交通規制による参集不可 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣居住者のパート採用 自家用車による薬局への参集ルートの確認 	×
モノ	常備品※薬局が日常的に保有しているもの	<ul style="list-style-type: none"> 他機材の落下による故障 落下による故障 停電による停止 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺他機材の固定 	×
	外部調達品※外部からの定期的な供給が可能なもの	<ul style="list-style-type: none"> 薬棚の倒壊による一般用医薬品の散乱 卸売業者の倉庫被災による供給停止 道路の寸断、交通規制による供給停止 	<ul style="list-style-type: none"> 薬品棚の固定 最低3日分の常備 	×
情報		-	-	-
ライフライン		<ul style="list-style-type: none"> 停電 照明の停止 	-	×

【業務継続目標】

発災後経過時間		6時間	24時間	72時間	7日	事前対策
目標とするサービスレベル		△	△	△	○	-
業務を継続するための方策・代替手段	サービス提供方法・手段の変更	薬剤師2名で対応	(6時間後と同様)	薬剤師3名で対応	薬剤師4名で対応	緊急参集する薬剤師を指定
		電卓による会計	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	一般用医薬品の価格一覧表の整備 電卓の常備
	手書きによる領収書の作成	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	手書き用領収書の常備
	サービス内容(量・質)の変更	開局時間の短縮(10~13時)	(6時間後と同様)	(6時間後と同様)	-	災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関への周知